

ルカ伝の祈り (8)

「しつこい祈り」

(山口 民雄 伝道師)

【聖書のみことば】 ルカの福音書 18章 1-8節

- 1 いつでも祈るべきであり、失望してはならないことを教えるために、イエスは彼らにたとえを話された。
- 2 「ある町に、神を恐れず、人を人とも思わない裁判官がいた。
- 3 その町に、ひとりのやもめがいたが、彼のところにやって来ては、『私の相手をさばいて、私を守ってください』と言っていた。
- 4 彼は、しばらくは取り合わないでいたが、後には心ひそかに『私は神を恐れず人を人とも思わないが、
- 5 どうも、このやもめは、うるさくてしかたがないから、この女のために裁判をしてやることにしよう。でないと、ひっきりなしにやって来てうるさくてしかたがない』と言った。」
- 6 主は言われた。「不正な裁判官の言っていることを聞きなさい。
- 7 まして神は、夜昼神を呼び求めている選民のためにさばきをつけないで、いつまでもそのことを放っておかれることがあるでしょうか。
- 8 あなたがたに言いますが、神は、すみやかに彼らのために正しいさばきをしてくださいます。しかし、人の子が来たとき、はたして地上に信仰が見られるでしょうか。」